



せいぶしょうがっこうかんきょうほうしん
西部小学校環境方針

わたしたちは、かけがえのない地球ちきゅうを守るため
に、みんなかんきょうで環境すこを少しずつよくしていきます。

1. 電気でんきの使用量しようりょうをへらします。
2. 水みずを大事だいじに使つかいいます。
3. ゴミをへらし、リサイクルを心こころがけます。
4. 環境かんきょうについて学まなび、実践じっせんします。

せいぶしょうかんきょうかつどう てびき 西部小環境活動の手引き

でんき 【電気】

- 使っていない教室やトイレの明かりを消す。
- せん風機やかん気せんを使用し、窓を開けるなどして、自然の風を取り入れ、エアコンは必要な時のみ使用する。

みず 【水】

- 手洗いや歯みがき、そうじで水を使うとき、流しっぱなしにしない。

【ゴミ・リサイクル】

- 給食は残さないようにする。
- 裏紙を使用する。

まな 【学ぶ】

- リサイクル活動を通して、環境について、みんなで学ぶ。
- 花だんやプランターに花を植え、水やりなどの活動を通して、植物を大切にしようとする思いを学ぶ。

1 取組の概要

西部小学校では、子どもたちの身近な環境に対する関心を高め、自分たちにできることを考えて、実践できる児童の育成をめざして、環境福祉委員会を中心に全校で環境活動に取り組んできた。コロナ禍で、今年度も本格実施できなかったペットボトルキャップの回収は、家庭や地域のリサイクル意識も高く、毎年たくさんのキャップが集まっている。また除草作業、プランターや花壇への花植え等、様々な取組を行った。

2 令和4年度の活動内容

【環境美化・栽培活動】

○環境福祉委員などによる花壇の整備

環境福祉委員会と有志が、赤十字でいただいた花の種を植えたり、地域の方からいただいたパンジーの苗を植えたりした。1つ1つの苗を心を込めて植え、その後は水をあげながら大切に育ててきた。植物を育てることを通して、周りの人に対する思いやりや優しい気持ちも育てている。

また、コロナ禍で、できる活動が少ない中、「美しい環境は豊かで美しい心を育てる」という考えから、夏休みに親子で校庭の除草作業等を行った。



【 パンジーの花植え 】



【 PTA奉仕作業 】

○地域の自然

3年生では地域の特産品である桃の栽培を地域の方の指導のもとに行い、1年間の桃の世話を通して、植物の育ち方、命のつなぎ方、そして桃作りに取り組む地域の方々の思いを学ぶことができた。



【 桃の花 】



【 栽培のお手伝い 】



【 収穫した桃 】

【省エネ・リサイクル活動】

○節電、節水

省エネのため

- 使わない電気はこまめに消す
- エアコンの設定温度を 26～28℃にする
- 水を流しっぱなしにしない

等々、学校全体で取り組んできた。

○ペットボトルの回収

学級や職員室で資源ごみ、特に紙類などは、リサイクルできるものはリサイクルしてきた。

また、今年度も感染症の広がりを防ぐため、児童玄関で行っていたペットボトルの回収（エコキャップの回収）は、職員室だけで行った。以前の環境福祉委員が中心となって集めたペットボトルキャップと、職員が集めたキャップ、区長さんから預かったキャップで合計 80.7kg（12袋）も回収することができた。

3 取組の見直し及び今後の活動

環境方針や活動の手引きをもとに、環境福祉委員会を中心に全校で様々な活動を行うことができた。中でも5年生は、児童が自ら環境について考える場（エコムーブ号来校）を設け、環境を大切にしようという気持ちを育んできた。

エコ活動を実践することで、今後も日常生活の様々な場面や地域の方々との関わりの中で、児童が環境について考える場を設け、環境についての意識がより高められるように取り組んでいきたい。また校内だけではなく、環境への関心や取組が地域に広がっていくよう活動していきたい。



【職員室でも節電】



【節水をよびかけるポスター】



【集められたペットボトル】



【SDGsについて考える】